社会を取り巻くリスクと医療について

ZUAJCQ-Z1D1

総得点 60/100

1 ZUAJCQ-11C1

問題 （100点） ※解答は横書き

要素	表現	表記	得点
60			60

（　　）で括った部分は前後から十分に読み取れるのでカットしよう。簡潔でわかりやすい小論文を書くことを心がけたい。注

この議論で話題となっているのは、リスクへの対応は誰がすべきであるかということであり、今までの社会制度では責任は社会にあると考えられてきた。しかしA君は(この点に反対意見を示している。つまり、)リスクへの対応の責任は社会ではなく個々人にある(というわけである。)自分で自分を守ることを前提にしていくべきであると(を)述べている。

私はA君の意見に賛成はできない。ⓐ〈A君は個々人に責任をゆだねることが効率よくリスクを回避する方法であると言っている〉が、そうであるとは必ずしも言えない。医療制度を例にとって考えてみると、A君の考えでは医療保険は必要ないということになってしまう。年金も必要ない。自らの力で将来に備えよということであるが、医療保険なしで人々が幸せになれるかといったらそうはならないと考える。アメリカの例をとって考えてみても貧富の差が生じてしまうであろう。社会主義のように全員が平等であるというのもおかしいとは思うが、少なくともなるべく多数の人間が幸せになれる状況を作るのが理想的であると思う。格差社会、特に少数のとても裕福な人間と多数の貧しい人が生まれるよりは、なるたけ貧しい人がでない努力をするべきであるのは至極当然である。

ⓑ〈格差社会が生じても別に問題はないとA君は言うかもしれない〉が、格差のある社会は不平不満の多い社会であるから犯罪などのリスクが増えることが予想されるので、リスク回避の方法としては不適切と言わざるを得ないであろう。

例えば不健康な食事のつけとして病気になる人が増えるとする。本人の食生活が悪いのはもちろんであるが、それを引きおこした社会も必ずしも悪くないとは言えないし、この事態を引きおこさないためには、社会全体が取りくんだ方が効果的であろう。

—800字

A君の発言をまとめているが、ⓐ ⓑ の内容もここに盛り込んで、A君の発言の根底には〈能力主義〉や〈効率主義〉の考え方があることを明示しておくと整理され、あらためて後段落で記す必要がなくなる。

−7 ①で

ここは「医療制度を例に」考えているので「年金」への言及は不要。

−3 ①で

——部分は曖昧な意を添える文末表現なので、自分の考えを述べる小論文には適切ではない。注

個人の食生活の悪さを社会のせいにするのは無理がある。この最後の段落はカットして「自分の意見」を記すスペースとしよう。

−5 ②で

1	課題文読解力	B	
2	資料・図・グラフの読み取り	C	
3	課題文の要約力	C	
4	テーマの設定		
5	論述の一貫性		
6	文章表現力		
7	論理的考察力	B	
8	説得力	C	
9	意見の独自性	C	
10	答案条件遵守	B	
11	表記の正確さ	A	
12	タイトルのつけ方		

A すばらしい出来である　B よくできている　C もう一歩の出来である　D 相当努力を要する

〈A君に反対〉という考えを明示した上で、設問条件に対応させて「医療保険制度」を例に自分の考えの根拠を述べようとする姿勢はよい。
だが、〈アメリカがそうだから、医療保険なしでは幸せになれない〉というだけでは十分な根拠とは言えない。

↓ −15 ①で

医療従事者という立場に立って、医療保険がないとどうなるのかを具体的に論じよう。例えば医療従事者として、治療費が払えない患者にどう対応するかなど、自分の問題として考えた上で、貧しい人は治療どころか病気の予防もできなくなるような社会の到来を予測し、これでは誰もが幸せな社会の実現は不可能であると論じることなどが考えられる。

A君への反対意見を繰り返さずに、ここからは「自分の意見」を述べていこう。

−10 ②で

↓

貧しくても医療保険のおかげで普通の治療が受けられるといった、リスクに社会的に対応することの効果や意義を具体的に示していくとよい。その際、制度への依存過多やただ乗りする者の存在、社会保障に関する予算の確保などという、A君のような自己責任論者側からの反論も想定し具体的に論じたい。

要素別得点

①テーマの設定	35/60
②論の展開における考察	25/40

（※解答欄は以上です。裏面にある「答案感想欄」にもご記入ください。）

②谷折り　①山折り

小論文